

1 なぜ、今エリクソンの「キリスト教神学」なのか

- その問題意識と今日的意義 -

エリクソン博士をお迎えしての
「関西講演会」レジュメ
関西聖書学院:2003.3.12
一宮基督教研究所:安黒務

2 シカゴ・コール:序文

1. 聖書による**神の啓示**に忠実であるか
2. われわれ自身の弱点に敏感であること
3. 歴史的キリスト教信仰を縮小変形させて
4. 自らの成熟の達成を妨げられている
5. それゆえ
6. 聖書の歴史的信仰の本質を再考し、
7. その遺産の豊かさを再発見することが必要

3 真性な福音主義神学の特質

1. 聖書の適格性
2. 正統信仰の公同性
3. 現代的適応性
4. 自己革新性

4 特異なメンタリテイ

1. 原始主義
2. 二元論的思考
3. 聖書主義
4. 伝道至上主義
5. 文化との対立的見方
6. 反知性主義
7. 分離主義・自己閉鎖的・自己防衛的体質

5 新福音主義運動(A. マグラス)

1. リベラリズムとファンダメンタリズムの闘争
2. リベラリズムの上昇気運を阻止せず、思想界に影響与えず、社会問題と取り組まず
3. 両者の弱点を克服する、一つの明確な選択肢としての福音主義の出現
4. 正統的キリスト教を妥協せずに擁護
5. 堅固な神学的学識と福音の使信の社会的適用への献身
6. 知的にも尊敬できるキリスト者の選択肢

6 ポスト・ファンダメンタリズム的福音主義(宇田進)

1. 第二次大戦後

2. ファンダメンタリズムの分離主義・反知性主義・他界主義などの諸問題を克服しながら登場
3. より公同性と現代性を具備した福音主義の流れ
4. 全米福音主義同盟 (NAE: 1942-)、カール・ヘンリー「クリスチャニティ・トゥデイ」(1956-)

7 エリクソン著「新福音主義」

1. 博士論文 処女作“New Evangelical Theology”
2. 歴史的発展 (第1章 概要)
 - 正統主義への脅威
 - 根本主義の反応
 - 新福音主義の出現
 - 要約

8 新福音主義運動のひとつの結実 エリクソン著「キリスト教神学」の

主題と強調点: ドッケリー論文

1. 聖書の教理を基盤とした一致
2. 両サイドの人が「意味ある神学的対話」を探求しうる地点で信仰を再評価
3. 今日の時代の必要に関連づけられ
4. 過去の生きた正統主義との連続性にあり
5. 後代のファンダメンタリズムとは区別され
6. 正統的キリスト論と聖書観に結び合わされている一揃いの関心と態度

9 書評 (パネンベルク)

1. 聖書を基盤とし、
2. 現代の哲学的・神学的業績とともに
3. 教会の伝統との対話を継続している
4. 真に学究的なキリスト教教理の提示
5. 聖書の靈感と無誤性を主張しつつ
6. 議論はファンダメンタリストのようではなく
7. すべての人々に開かれており
8. 歴史的批評的解釈にも関心を払い
9. 福音主義的概略の優れた実例と
10. 他の神学的立場との対話のための基盤を据えています

10 エリクソン神学を教えてみて (安黒務)

1. 宇田神学...信仰の歴史的ルーツ・アイデンティティを立体的に探求する歴史神学マニュアル
2. エリクソン神学...保有する福音理解を正しい手順で分解し、「縮小変形」箇所を修理し、バージョンアップして、再び組み立てることを可能にする組織神学マニュアル
3. ある立場・特定の理解(バプテスト)を押し付けるものではなく、それぞれの教派の理解を尊重し、選択肢を提示し、聖書性・公同性・現代性・自己革新性をもった教派の神学へとバージョンアップする手助けをするマニュアル
4. 片手に「エリクソンのキリスト教神学」をもち、他方の手に「それぞれの教派の組織神学」をもつと良い

11 教派性と公同性 (泉田昭)

1. 信仰の排他的強調によりアイデンティティ確立
2. 他との違いを強調することにより存在意義を明確化
3. その結果
4. 全体としてまとまりのない無政府状態
5. 交わりと協力の声
6. 教派レベルの独自性と公同性の課題

7. 教派性を否定せず、尊重しつつ、それぞれが真の公同の教会の一部であることを認識しよう
8. 「共同性を目指す」とは、教派性を否定するのではなく、むしろそれを止揚するのである
 - 「キリスト教神学」は、“教派性”止揚マニュアルである

12 「キリスト教神学」の問題意識・今日的意義をさらに掘り下げるための重要参考文献リスト

- 英国のA. マグラスの著作
 - 「キリスト教の将来と福音主義」いのちのことば社
福音主義の再興、特徴、主張、理想像の喪失、霊性の探求、問題点、将来について - 「福音主義」の輪郭を知ることができる
 - 「キリスト教の将来」教文館
西洋での危機、他の地域での再形成、西洋での未来、諸問題、概観、学究的神学への幻滅の課題 - 「キリスト教全体」についての動向についての分析と洞察
- 日本の宇田進の著作
 - 「福音主義キリスト教と福音派」いのちのことば社
特異なメンタリティ理解のための歴史神学マニュアル
 - 「総説 現代福音主義神学」いのちのことば社
「キリスト教神学」の周辺領域の議論を理解するための現代神学マニュアル